



医療法人錦秀会

阪和記念病院の患者様及びご家族様へ

## 診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、あなたの診療情報から得られた研究データを用いる、以下の観察研究を実施しております。

この研究は、医療法人錦秀会の研究倫理審査委員会にて、研究内容が倫理的・科学的観点から問題ないかどうかについて十分な審査が行われた結果、承認を受け、理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行われますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合やこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による診療への不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を完全に削除できない場合がありますので、ご了承ください。

### 【研究課題名】

プロレス選手の中脳変性病変の臨床的意義についての検討

### 【対象となる方】

医療法人錦秀会 阪和記念病院 及び 共同研究機関において 2018年1月1日から2023年12月31日に脳MRI検査を含む検診を行ったプロレスラーのうち、オプトアウト同意が得られた方

### 【研究代表者】

阪和記念病院 脳神経外科・副院長 佐々木 学

### 【共同研究機関・研究責任者】

牧田総合病院 脳神経外科脊椎脊髄センター 部長 朝本 俊司

大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学 教授 貴島 晴彦

### 【研究の目的】

阪和記念病院、牧田総合病院 及び 大阪大学医学部附属病院において脳MRI検査を含む検診を行ったプロレスラーの中に、中脳の変性病変が生じる選手がいることが分かった。慢性的な頭部打撃による脳幹への応力が原因で発生したと考えられる

が、神経症状との関連性は不明であり、現段階ではその臨床的な意義については分かっていない。

本研究では、過去の診療録や専属トレーナーが記載してきた選手の神経症状発生の記録から、慢性的に頭部打撃が加わる環境下でプロレスラーに生じる中脳変性病変の臨床的意義を検討する。

#### 【利用する診療情報】

- ・診療録（年齢、性別、受傷時および受傷後の状況や症状の経過、神経学的所見を含む身体所見）
- ・過去に行われた脳MRIの画像データ
- ・専属トレーナーが記載した神経症状についての記録

#### 【利用する者の範囲】

研究責任者及び個人情報管理者のもと、研究情報は本研究の特定関係者のみで利用します。

#### 【研究期間】

研究実施許可日～2024年10月31日

#### 【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

#### 【個人情報管理責任者】

医療法人錦秀会 理事長 藪本 武志

#### 【お問合せ先】

阪和記念病院 脳神経外科・副院長 佐々木 学

電話番号: 06-6696-5591

医療法人錦秀会 医学研究開発部 井原 智美

電話番号: 06-6696-3150

※ ご連絡の際には、診察券番号とご氏名、ご連絡先番号をお知らせください。